

経営比較分析表

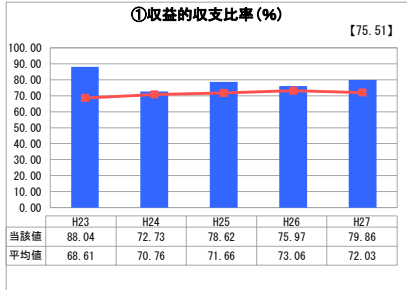
北海道 日高町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	11.69	3,640

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
12,655	992.11	12.76
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
1,461	12.30	118.78

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



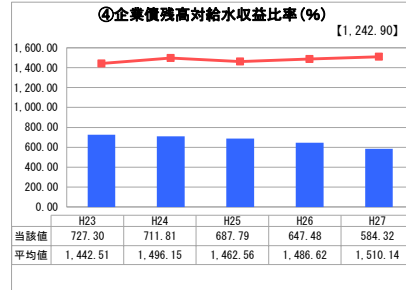
「単年度の収支」



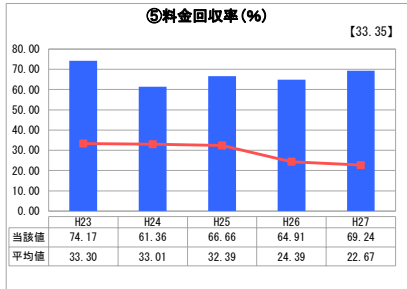
「累積欠損」



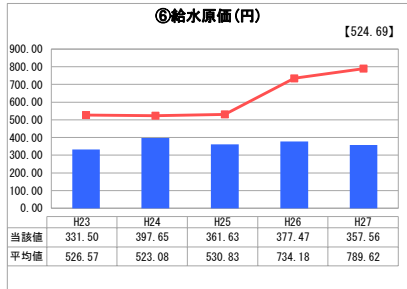
「支払能力」



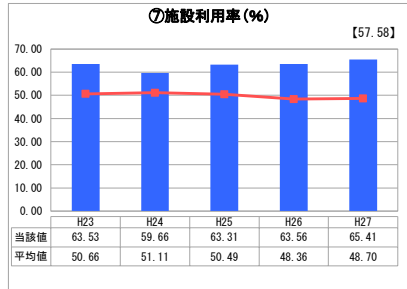
「債務残高」



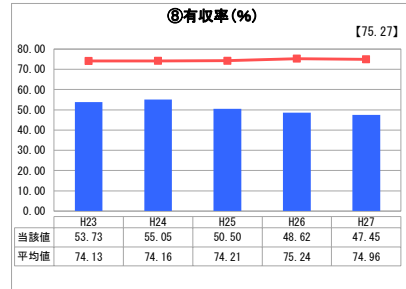
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

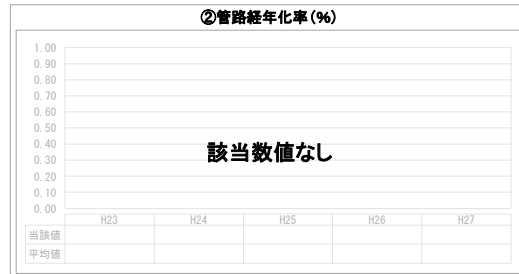


「供給した配水量の効率性」

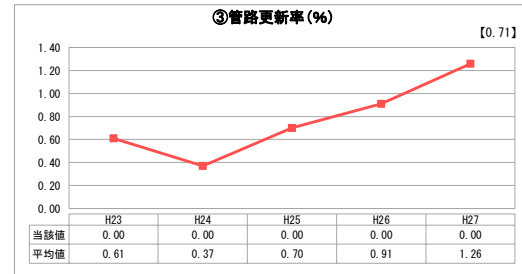
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

簡易水道事業の経営収益率、料金回収率については100%を下回っている状況が続いています。財政面においても、できる限り経費削減を続けてきましたが、老朽化が進んでいる施設の改修工事や修繕費等の増額が考えられることから、町では平成28年度より2カ年で15%の水道料金の改定を行います。

そのため、企業債残高対給水収益比率については類似団体平均より下回ってはいますが、今後の施設更新時には、適切な投資規模であるかを分析しながら経営改善を図ります。

給水原価についても、類似団体より若干下回っておりますが、更なる経費削減に努めます。

施設利用率については、平均よりも高い水準となっておりますが、有収率が非常に低いため、漏水調査、修繕を行い有収率の向上に努めながら適切な施設利用についての検討が必要です。

2. 老朽化の状況について

○アセットマネジメント(資産管理)の策定
 本町においても急速に整備された水道施設の老朽化が進行し、更新の時期を迎えつつあります。今後は、中長期的財政収支に基づき施設の重要度・優先度を踏まえた計画的な更新等を行います。

全体総括

今後、老朽化する施設・管路の改修工事や維持管理費等の増加が見込まれるため、アセットマネジメントによる中長期的な計画のもと、適切な施設更新を行い、更なる経費削減に努めます。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。